

紙リサイクル意見交換会のご案内

日本では、これまで回収した古紙の約8割を国内の製紙工場にて利用し、余った約2割を製紙原料として中国などに輸出して回収と利用のバランスを図っていました。

しかし、2017年12月31日からの中国の海外ごみ輸入禁止に伴い、日本から中国への古紙の輸出が制限されたことで紙リサイクルへの影響が懸念されます。この問題を解決するには古紙の品質を改善し、国内製紙工場での利用や中国以外への輸出を増加させることが必要です。

古紙の円滑な回収、流通、利用を今後も維持していくため、地方自治体の皆様、製紙メーカー、古紙問屋など立場の異なる関係者間の相互理解を深める意見交換会を開催いたします。

【意見交換会の内容例】

- ・説明（30分） 製紙・古紙業界関係者から、日本の紙リサイクルの現状、中国の古紙輸入状況などについてご説明いたします。
- ・意見交換（60分） 事前に設定したテーマについて意見交換します
テーマ例
 - ・古紙の品質を改善するための取り組みについて
 - ・雑がみの回収について
 - ・古紙の分別について
 - ・禁忌品（紙の原料にならないもの）について
 - ・各自治体の課題について（事前にアンケート調査にて確認）

【意見交換会の対象】

- ・地方自治体、清掃一部事務組合
（複数の自治体などが参加する方法、単独で実施する方法など、様々な形態で実施可能です）

【過去の主な開催実績】

開催日	対象者	自治体人数
H22年10月27日	東京都多摩地区自治体	20名
H23年2月16日	埼玉県西部地区自治体	26名
H23年10月4日	神奈川県自治体職員	19名
H23年11月1日	千葉縣市町村自治体、 清掃一部事務組合	25名
H24年2月2日	埼玉県清掃行政研究協議会	18名
H29年10月17日	第2ブロック	20名
H25年2月6日	埼玉県清掃行政研究協議会	19名
H29年11月27日	第1ブロック	21名
H26年7月28日	さいたま市、千葉市職員	4名
H29年10月24日	埼玉県清掃行政研究協議会 第4ブロック	24名



【申込方法】

裏面の申込書に必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXにて当センターまでお送りください。

紙リサイクル意見交換会 申込書

【お申込み】

下記に必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXでお送りください。お申し込みの確認後、古紙再生促進センターよりご連絡させていただき、日程や内容などの詳細についてお打合せさせていただきます。

「送付先」 古紙再生促進センター 業務部業務課

Eメール: gyomu@piif-prpc.com / FAX: 03-3537-6823

申し込み自治体名		
ご担当者名 お役職		
住所	〒	
電話番号		
Eメールアドレス		
開催希望日	第1希望日	月 日
*具体的な日にちが未定の場合は、 希望月のみご記入ください	第2希望日	月 日
	第3希望日	月 日
参加対象者		
意見交換希望内容		
その他連絡事項		

【問い合わせ先】

紙リサイクル意見交換会に関するお問い合わせについては下記までお願いいたします。

古紙再生促進センター業務部業務課 担当：濱野

TEL:03-3537-6822 / FAX: 03-3537-6823 / Eメール: gyomu@piif-prpc.com

以上